


御中

障害とは・・・

知的障害・発達障害・精神障害の相違点

2021年 月 日




あいち障害者雇用総合サポートデスク

1

本日のレジュメ

- 相違点を知る
 - 精神障がいの場合
 - 発達障がいの場合
 - 知的障がいの場合
 - 相違点のまとめ
- ハードルの調整
 - ミスをした時の感じ方 それぞれの例 (得意と苦手)
 - 知的障がいの特性 (得意と苦手)
 - ルールとマナーと生活管理
 - 企業にとっての支援機関



2

障害とは・・・発達障がいの場合

先天性である
(生まれつき)

脳の発達に凸凹ができている
凸=得意 凹=苦手
誰にでもある凸凹が、極端に(差が)大きい

低年齢で発現(社会性が出てくる幼児期～)





Q. どこからが障害か?

本人が社会生活を行う上で**支障が強く出た時(医師の判断)**

ホルモンの分泌が上手できない

症状に合わせた服薬

定期的な通院や周囲の配慮
安定した作業

5

障害とは・・・知的障がいの場合

先天性である
(生まれつき)

知的機能 (知能指数に基準) の欠陥
適応機能 (日常生活能力) の欠陥
両方で判断

発達期(18歳)までに分かる



見た目の成長と精神年齢の成長は違う

軽度知的の場合 精神年齢は12歳程度

多くの場合、「成長すればこれくらいわかるでしょ?」

精神年齢 = ことばの理解力
身体は成長しても、**理解力は成長しません**

伝え方の工夫は、常に必要です

6

知的障がいの特性（得意と苦手）



5つのポイント

1. 見た目年齢に惑わされない 軽度の場合、理解力はずっと「小学6年生」
2. 「はい」の返事は、挨拶 復唱や、やらせてみて確認をする
3. 視覚優位の情報処理 図や写真、見本を示す方が分かりやすい
4. ルールは理解、マナーは「？」 社内規範の整備ができる
5. 体験の刷り込みは得意 単純作業でも複数工程ができるようになるけれど、複数指示・急な予定変更はNG

知的障がいの特性（得意と苦手）



ルールと生活管理 家庭との連携



- 連絡窓口の明確化 >>> 誰に伝える 会社 _____
家庭 _____
- 連絡方法のルール >>> メール・電話・ノート 情報の「見える化」
- 支援機関との連携 >>> ルール化 情報共有と対応範囲

社内支援に向けて

企業内ジョブコーチ(企業在籍型職場適応援助者)の育成・配置

ジョブコーチとは、職場、障がい者への支援ノウハウを有する者
 専門研修を受ける必要がある(6日間程度)

目的：障がい者の職場定着と雇用の拡大
 役割：課題解決に向けたアドバイザー

障害者職業生活相談員の配置

専門研修を受ける必要がある(2日間)

